

事項	斑点米カメムシに対する休耕田への殺虫剤の効果		
ねらい	斑点米カメムシの発生源となっている休耕田に殺虫剤を散布することにより、高い防除効果が認められたので参考に供する。		
指導 参考 内容 容	<p>1 防除方法</p> <p>(1) 防除時間 水稻の穂揃期に、休耕田も含めて広域で一斉に殺虫剤を散布することにより防除効果が高くなる。 特に、散布直前に斑点米カメムシが多くすくい取られた場合には、穂揃散布7～10日後にも本田2回目散布を行う。</p> <p>(2) 防除薬剤 県農作物病害虫防除基準採用の殺虫剤を使用する。</p> <p>2 防除効果 本田内の殺虫剤散布時に斑点米カメムシの発生源となる休耕田にも散布することにより、休耕田での斑点米カメムシの発生密度を抑え、また、本田内への侵入を防ぎ、斑点米の発生が少なくなる。</p>		
期待される効果	防除対策上の参考となる。		
利用上の注意事項	なし		
担当	青森県農業試験場 病虫肥料部 環境部	対象地域	県下全域
発表文献等	平成12年度 青森県農業試験場試験成績概要集 平成12年度 東北農業成果情報（予定）		

【根拠となった主要な試験結果】

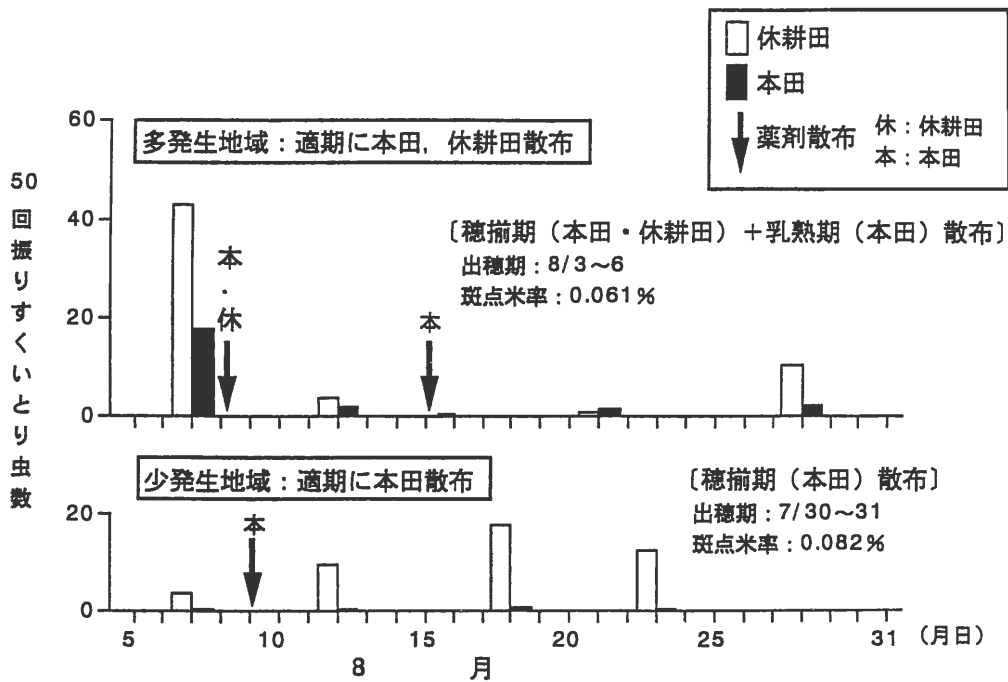


図1 斑点米が少なかった地域におけるカスミカメムシ類のすくいとり推移

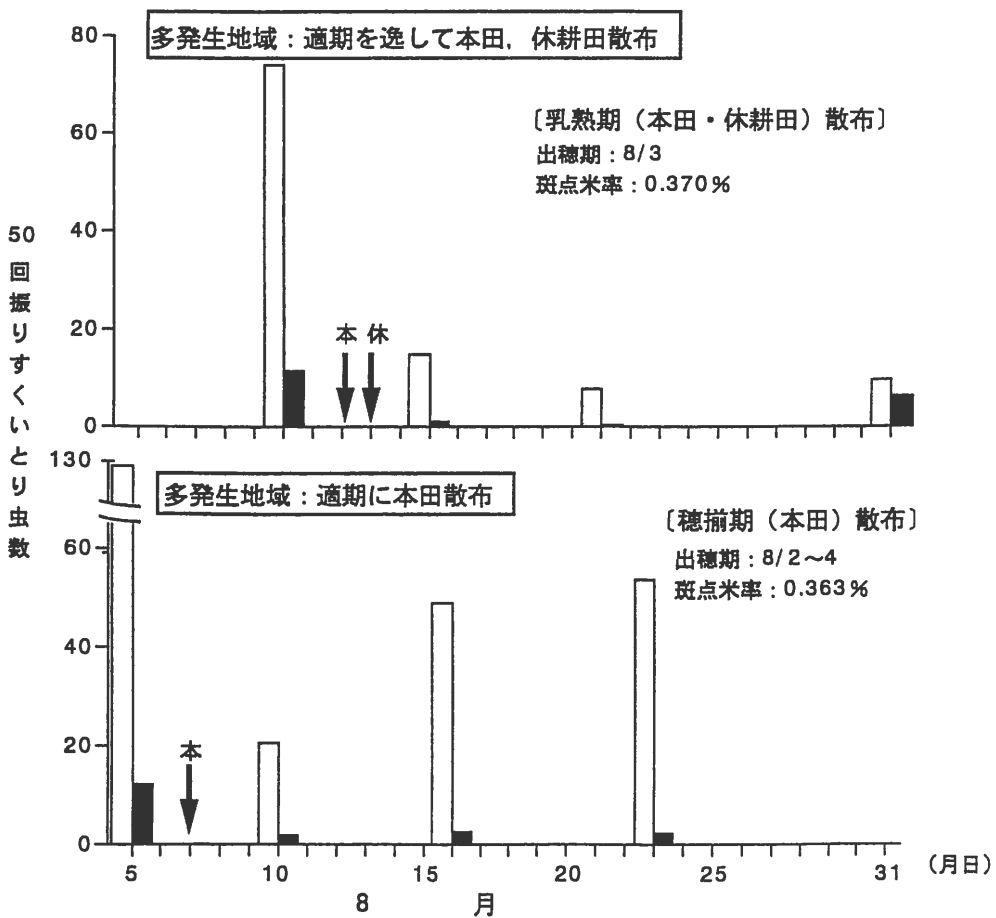


図2 斑点米が多かった地域におけるカスミカメムシ類のすくいとり推移